

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 660 号

2016年6月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

2015年度

アルミニウム 2次地金・合金生産

80万トン割れ

一般社団法人日本アルミニウム合金協会はこのほど2015年度(2015年4月～2016年3月)のアルミニウム2次地金と同合金の生産と出荷の実績を発表した。

これによれば、生産は776,115トンで前年度に比べて4.7%減少、出荷は785,920トンで同じく4.9%減少し、両者とも80万トンを割り込んだ。

80万トン割れは、東日本大震災とタイの大洪水の影響で需要の急減に直面した2011年度以降はじめて。

この要因は、消費税の増税の影響に加え、税金が引き上げられた軽自動車の生産が前年割れとなったことが挙げられる。

一方、中国産の二次合金の流入による国産二次合金の市場縮小も影響した。

産業部門別出荷では、押出しを除いた全部門が前年度からマイナスとなった。主力のダイカストと鋳物は自動車生産台数の減少とともに2年連続のマイナスとなった。

圧延はコーヒー缶の一部がスチール缶からアルミ缶に変わったことから需要は増大したものの、アルミニウム新地金の国際相場下落からアルミ再生地金の割安観が後退して需要が減少、大量のアルミ缶スクラップが海外へ流出する事態となった。

押出しは、住宅着工の戸数が持ち直しによる大幅な需要増加となった。また鉄鋼向けは、鉄鋼メーカーの生産抑制による影響で市場が大きく縮小する結果となった。

アルミ 2次地金・合金の生産と出荷

		2014年度	2015年度
総 生 産 量		814,670 (-3.1)	776,115 (-4.7)
総 出 荷 量		826,050 (-2.9)	785,920 (-4.9)
部 門 別 出 荷 量	ダ イ カ ス ト	459,199 (-2.5)	440,900 (-4.0)
	鋳 物	212,255 (-4.9)	196,614 (-7.4)
	圧 延	58,209 (-0.6)	56,798 (-2.4)
	押 出	20,696 (-7.9)	22,649 (+9.4)
	鉄 鋼	46,558 (+5.4)	39,946 (-14.2)
	合 金 メ ー カ ー 向	28,926 (-7.8)	28,601 (-1.1)

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

アルミ合金と粗鋼

月間生産が前年比増

最近発表された3月のアルミニウム合金の生産量と4月の粗鋼の生産量が、それぞれ18ヶ月ぶりと20ヶ月ぶりに前年同月比が上昇した。金属業界を代表するこの2指数の反転は、長期の低迷から脱却を示すものか注目されている。

3月のアルミ合金生産

日本アルミニウム合金協会が5月17日発表した3月のアルミニウム2次地金と同2次合金の生産量は、前年同月比2.5%増加の66,897トンと18ヶ月ぶりに前年実績を上回った。

また、出荷量は1.2%増しの69,189トンで26ヶ月ぶりのプラスとなった。

4月については熊本県の地震の影響で同地方の自動車生産関連の生産活動の停滞が心配されているが、今

までのところ影響の程度は不明である。

18ヶ月ぶりで生産増加となったことは、4月スタートの今年度の生産の見通しに大きな期待が寄せられている。増加率の2.5%から試算すれば、80万トン上乗せの期待もふくらむが、往年の100万トン生産には大きな距離がある。

4月の粗鋼生産

日本鉄鋼連盟が5月20日に発表した4月の全国粗鋼生産量は、前年同月比1.2%増しの849万8000トンで、前年同月比で実に20ヶ月ぶりの増加となった。

内需が本格的に回復しているという見方は少ないが、中国の生産抑制により東南アジア市況が好転した結果と考えられる。前年同月比が20ヶ月ぶりの増加を記録したことは注目に値する。

日本経済新聞

5月23日

安価・高強度の合金

豊橋技科大
マグネシウムで開発

豊橋技術科学大学の三浦博己教授らは、次世代の軽量構造材料に期待されるマグネシウム合金の強度を高める新技術を開発した。イットリウムなどの高価な希土類を混ぜなくても強度を保ち、価格が5分の1以下のマグネシウム合金棒ができる。携帯電話やパソコンの筐体（きょうたい）などへの応用を見込む。

市販のマグネシウム合金の棒材を金型に入れて通常では割れるような圧力でプレス加工する。超微細な針状の組織が重なり、強度が高まる。

試作では最高の引っ張り強度で1平方ミリメートル当たり約50キログラムだった。強度は希土類を加えた合金より2割程度高まった。

川本重工と組み、直径2センチの棒材のサンプル出荷を近く始める。同5センチの棒材や角材などの開発にも取り組む予定。価格は1キログラムあたり5万円程度の希土類添加型の5分の1から10分の1を目指す。

マグネシウム合金は軽くて振動吸収性や電磁波遮蔽に優れる。小型無人機や自転車、ねじなどへの応用も期待される。

日本アルミニウム合金協会 第42回定時総会開催

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月17日東京虎ノ門の霞山会館で第42回定時総会が開催され、役員の変更で新会長に山本隆章氏（株式会社大紀アルミニウム工業所社長）が選任され、またアスカ工業株式会社天野卓社長は常任理事に再選された。

総会の席上、第38回高橋記念賞の授与式が行われ、アスカ工業株式会社から松川剛士君が受賞の栄誉に輝いた。この高橋記念賞は、故高橋愛次氏（株式会社アーレスティの創業社長）のご遺志により発足したもので、アルミニウム合金業界の生産技術の向上に貢献した現場の技術者に贈られる。昭和54年6月に第1回が発足して本年は第38回にあたり業界で最も由緒ある賞となっている。

総会終了のあと、盛大な懇親会が開かれ、会員、業界団体、経済省、新聞社の100名が懇親を深めた。

（写真・高橋記念賞受賞を喜ぶ松川剛士君）



5月20日

西尾市危険物安全協会表彰式

西尾市危険物安全協会（会長・松崎三木明和油化株式会社社長）の第55回定時総会が、5月20日西尾市吉良町の三河湾リゾートリンクスで行われた。

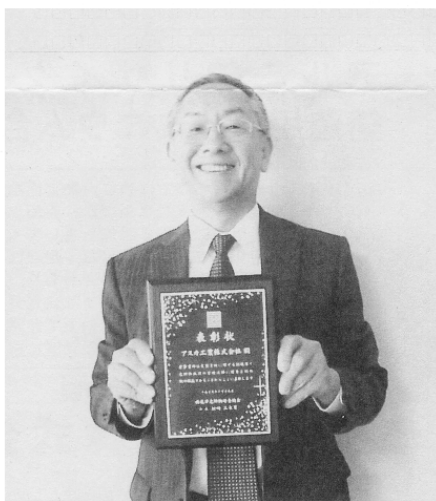
西尾市危険物安全協会は、一般社団法人愛知県危険物安全協会連合会の下部組織で

- ・関係事業所の自主防災意識の高揚
- ・危険物安全週間の行われる6月に特別安全PR
- ・火災予防運動への協賛

など幅広い危険物安全取扱いの運動を展開しており、このほど安全事業所として法人2社、個人2名の表彰式が定時総会の席上で行われ、アスカ工業株式会社は法人表彰の栄誉に輝いた。

アスカ工業株式会社は、平成24年6月の新工場の操業開始と同時に燃料を重油から都市ガスへ変換して一挙に二酸化炭素の排出を低下させて今日に至っており、危険物取扱安全運動と共に評価された。

（写真・表彰状と天野卓社長）





三ヶ根あじさいまつり

三ヶ根スカイラインは西尾市から形原温泉を結ぶ約5kmの道路で、「あじさいライン」として知られており、6月から7月上旬に約7万本のあじさいが咲く山路を抜けると、眼下に三河湾の大パノラマが広がる。

6月1日（水）から6月30日（木）まで「三ヶ根あじさいまつり」が行われ、あじさいの花と三河湾の眺望が楽しめる。

（写真・あじさいと三河湾）

社内情報

- ◎6月17日定時株主総会を開催のはこびになりました。この1年間、生産・出荷ともに波乱なく大そう順調に推移いたしました。
- ◎1年を通じて大きなご支援をいただきましたお取引先各位へ厚くお礼を申し上げますと共に、引きつづき今期も一層のご後援をお願い申し上げます。
- ◎鈴木要郎君（生産課）5月29日吉日を選んで結婚式挙行。おめでとう！

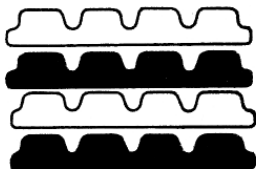
編集後記

- 6月5日西尾市吉良町上横須賀の源徳寺で吉例の「仁吉まつり」が举行されます。
- 侠客「吉良の仁吉」をしのぶお祭りで、吉良音頭の総おどり大会をはじめ、地元物産展示即売会など多彩なイベントが予定されています。
- 源徳寺は名鉄西尾線上横須賀（かみよこすか）下車徒歩数分の距離です。勝負ごとに「必勝の秘薬」とされる薬？が目玉です。

アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500 代

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>